

令和6年7月24日  
総務財政委員会

## 第三セクターの経営情報について

白島石油備蓄株式会社  
(令和5年度)

政策局

## 第三セクターの経営情報について 〔白島石油備蓄株式会社〕

### 1 会社概要

#### (1) 事業内容

- ① 石油備蓄基地の運転、保全及び安全防災に係わる事業
- ② 前号に付帯関連する事業

#### (2) 会社設立及び本市の出資額・割合

会社設立	昭和56年6月8日
資本金	1億円（うち本市出資額5,000千円 出資率5.0%）

### 2 事業報告要旨

#### 【令和5年度業績】

白島国家石油備蓄基地は、全国に10カ所ある国家石油備蓄基地の1つであり、エネルギー安全保障政策として石油の供給途絶など緊急事態に備えている。

令和5年度は、(独) エネルギー・金属鉱物資源機構（以下「機構」という。）との令和5年度～令和9年度までの5ヶ年にわたる白島国家石油備蓄基地操業に係る業務委託契約の初年度目にあたり、海上災害対応能力の維持及び強化のため、機構が隔年で実施している組織演習業務に取り組む他、令和7年度に完了を予定している、貯蔵船白島八号泊地内検査工事に向け準備を開始した。また、令和5年5月に新型コロナウイルスが5類に移行し、各種制限が緩和される中、引き続き感染防止に努め、契約に定める業務を着実に遂行した。

なお、業績については、残業代計算の単価に誤りが見つかり、過年度残業代差額を未払金として特別損失に約33百万円計上したことにより、約2,352百万円の売り上げに対し、当期利益は約8百万円と、昨年度比で大幅な減益となった。過去の未払金は清算し、原因を究明し対策を講じており、今後、同様の事案が発生しないよう努めていく。

#### 【令和6年度の課題】

令和6年度は、機構との業務委託契約（令和5年度～令和9年度）の2年度にあたる。機構との業務委託契約に定める業務、ならびに入札に際し機構に提出した企画書に則り、個々の改善提案を着実に遂行する。

また、令和6年度の会社目標である「基地の安全と安定操業の完遂」、「改善活動の徹底」、「社員の健康とモチベーションの向上及び人材育成」の達成により、引き続き基地の安全・安定操業に努めていく。

### 3 決算報告要旨

#### 損益計算書

自 令和5年4月 1日  
至 令和6年3月31日 (単位：千円)

科目	金額
売上高	2,351,619
売上原価	1,958,835
販売費及び一般管理費	339,233
営業利益	53,550
営業外収益	1,649
経常利益	55,199
特別損失	32,597
税引前当期純利益	22,602
法人税、住民税及び事業税	20,521
法人税等調整額	△5,938
当期純利益	8,019

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示

### 4 剰余金の配当

株主配当金に2千万円（1株につき 2,000円）。

これに伴い、500株を所有する本市に対しては、株主配当金として1百万円が支払われた。

### 5 その他事項

(1) 従業員数 85名（令和6年3月31日現在）

(2) 株主総会 令和6年6月20日、株主全員の同意により下記の議案が承認可決された。

第1号議案「第43期計算書類承認の件」

第2号議案「剰余金処分の件」

第3号議案「取締役全員（5名）任期満了につき取締役5名選任の件」

# 第43期報告書

自 令和5年4月 1日  
至 令和6年3月31日

白島石油備蓄株式会社

# 事業報告

自 令和5年4月 1日

至 令和6年3月31日

## 1. 事業の概況

### (1) 事業の状況

#### 【当期の業績】

当会計年度における我が国経済は、コロナ禍を乗り越え、緩やかな回復基調を取り戻しました。一方、長期化するロシア・ウクライナ情勢や中東での紛争勃発、世界的な金融引き締めによる景気減速懸念など、先行きの不透明な状況が続きました。

このような経営環境の下、(独) エネルギー・金属鉱物資源機構（以下「機構」という。）殿との令和5年度から令和9年度までの5ヵ年に亘る白島国家石油備蓄基地操業に係る業務委託契約（以下「契約」という。）の初年度にあたり、海上災害対応能力の維持および強化のため、機構殿が隔年で実施している組織演習業務に取り組む他、令和7年度に完了を予定している、貯蔵船白島八号泊地内検査工事に向け準備を開始しました。また、令和5年5月に新型コロナウイルスが5類に移行し、各種制限が緩和されるなか、引き続き感染防止に努め、契約に定める業務を着実に遂行致しました。これもひとえに株主の皆様をはじめ、関係機関ならびに地域の皆様からのご支援の賜物であり、心からお礼申し上げます。

なお、業績につきましては、残業代計算の単価に誤りが見つかり、過年度残業代差額を未払金として特別損失に33百万円計上したことにより、2,352百万円の売上に対し、当期利益は8百万円と、昨年度比で大幅な減益となりました。過去の未払金は精算し、原因を究明し対策を講じており、今後、同様の事案が発生しないよう努めて参ります。

#### 【来期の課題】

来期は、機構殿との契約の2年度目にあたります。機構殿との契約に定める業務、ならびに入札に際し機構殿に提出致しました企画書に則り、個々の改善提案を着実に遂行してまいります。

また、本年度の会社目標である「基地の安全と安定操業の完遂」、「改善活動の徹底」、「社員の健康とモチベーションの向上及び人材育成」の達成により、引き続き基地の安全・安定操業に努めて参ります。

株主各位におかれましては、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(2) 設備投資の状況

特記すべき設備投資を行っておりません。

(3) 資金調達の状況

借入等、資金調達は行なっておりません。

(4) 業績および財産の状況の推移

期別 項目	第40期 (令和2年4月 ～令和3年3月)	第41期 (令和3年4月 ～令和4年3月)	第42期 (令和4年4月 ～令和5年3月)	第43期 (令和5年4月 ～令和6年3月)
売上高 (千円)	9,573,651	2,223,720	2,498,548	2,351,619
当期純利益 (千円)	60,357	50,348	36,135	8,019
1株当たり 当期純利益(円)	6,035	5,034	3,613	801
総資産 (千円)	6,361,154	4,306,171	3,872,606	4,097,228
純資産 (千円)	827,221	857,569	873,704	861,723

2. 会社の概況(令和6年3月31日現在)

(1) 設 立 昭和56年6月8日

(2) 事業内容

イ. 石油備蓄基地の運転、保全及び安全防災に係わる事業

ロ. 上記イの事業に付帯関連する事業

(3) 株式の状況

イ. 株式の総数

発行可能株式総数 10,000株

発行済株式の総数 10,000株

ロ. 株主数 5名

#### ハ. 株主

株 主 名	持 株 数	議 決 権 比 率
コスモ石油株式会社	3,938 株	39.38 %
株式会社商船三井	2,812	28.12
E N E O S 株式会社	2,250	22.50
福 岡 県	500	5.00
北 九 州 市	500	5.00

(注) 当社の上記株主への出資はありません。

#### (4) 主要な事業所

本 社

〒101-0054

東京都千代田区神田錦町二丁目9番地

(03) 6634-2991 (大代表)

北九州事業所

〒808-0021

福岡県北九州市若松区響町一丁目108番

(093) 752-1460 (代表)

(5) 従業員の状況

区 分	男 子	女 子	合 計
本 社	10名	2名	12名
北九州事業所	70名	3名	73名
合 計 (前期末比)	80名 (前期比+1)	5名 (前期比±0)	85名 (前期比+1)

平均年齢 43歳1カ月 平均勤続年数 13年9カ月

(6) 取締役および監査役の氏名等

地 位	氏 名	担当及び重要な兼職の状況
代表取締役社長	成 田 克 史	
専務取締役	黒 岩 理	
取 締 役	坂 井 俊 哉	総務部長
取 締 役	平 塚 隆 明	北九州事業所長
取 締 役	三 浦 隆	業務部長
監 査 役 (*1)	細 谷 正 則	コスモ石油株式会社 常勤監査役兼務

(\*1) 当社の監査役は、従来は会計監査に関する権限だけを有していたが、令和5年9月26日の臨時株主総会決議（書面決議）によって『監査役の監査の範囲を会計に関するものに限定する』旨の定款の定めが廃止されたため、会計監査の権限だけでなく業務監査の権限をも有することとなった。



## 貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	4,025,239	流動負債	2,719,732
現金及び預金	1,767,828	未払費用	2,638,368
営業未収金	1,720,080	未払法人税等	2,037
前払費用	7,254	未払事業所税	8,625
未収消費税等	529,936	預り金	5,385
その他	139	賞与引当金	65,316
		固定負債	515,772
固定資産	71,988	退職給付引当金	470,909
有形固定資産	8,628	役員退職慰労引当金	44,863
建物	6,865	負債合計	3,235,504
工具器具備品	1,762	(純資産の部)	
無形固定資産	1,309	株主資本	861,723
電話加入権	84	資本金	100,000
ソフトウェア	1,225	利益剰余金	761,723
投資その他の資産	62,050	利益準備金	25,000
長期差入保証金	11,446	その他利益剰余金	736,723
繰延税金資産	50,604	別途積立金	90,000
		繰越利益剰余金	646,723
		純資産合計	861,723
資産合計	4,097,228	負債及び純資産合計	4,097,228

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 損 益 計 算 書

自 令和 5年 4月 1日  
至 令和 6年 3月 31日

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		2,351,619
売 上 原 価		1,958,835
売 上 総 利 益		392,784
販売費及び一般管理費		339,233
営 業 利 益		53,550
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	5	
雑 収 入	1,643	1,649
営 業 外 費 用		
雑 損 失	0	0
経 常 利 益		55,199
特 別 損 失		
過年度残業代差額	32,597	32,597
税引前当期純利益		22,602
法人税,住民税及び事業税	20,521	
法人税等調整額	△ 5,938	14,583
当 期 純 利 益		8,019

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 株主資本等変動計算書

自 令和 5年 4月 1日  
至 令和 6年 3月31日

(単位:千円)

	株 主 資 本						純資産合計
	資本金	利 益 剰 余 金				株主資本合計	
		利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合 計		
			別途積立金	繰越利益 剰 余 金			
当期首残高	100,000	25,000	90,000	658,704	773,704	873,704	873,704
当期変動額							
剰余金の配当				△ 20,000	△ 20,000	△ 20,000	△ 20,000
当期純利益				8,019	8,019	8,019	8,019
当期変動額合計				△ 11,981	△ 11,981	△ 11,981	△ 11,981
当期末残高	100,000	25,000	90,000	646,723	761,723	861,723	861,723

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却の方法は、定額法を採用しております。

無形固定資産のソフトウェアの減価償却の方法は、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

(2) 賞与引当金は、従業員に対する賞与支給に充てるため、賞与支給見積額のうち当期対応分の金額を計上しております。

(3) 退職給付引当金は、従業員の退職給付に備えるため、退職手当規程に基づく当期末自己都合要支給額を計上しております。

(4) 役員退職慰労引当金は、役員の退職慰労金の支出に備えるため、役員退職慰労金規程に基づく当期末要支給額を計上しております。

(5) 消費税等の会計処理の方法は、税抜方式を採用しております。

(6) 取次ぎ対象となる工事及び物品購入等の取次対象業務に関しましては、純額で収益を認識しております。

(7) 過年度残業代差額として32,597,308円を特別損失として計上しております。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1)発行済株式の種類および総数に関する事項

	前期末株式数	当期末株式数	摘 要
普通株式	10,000株	10,000株	当期中の増減はありません。
計	10,000株	10,000株	

(2)剰余金の配当に関する事項

① 配当金支払額

決 議	株式の種類	配当金の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
令和5年6月22日 定時株主総会	普通株式	20,000千円	2,000円	令和5年 3月31日	令和5年 6月23日

② 基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力が翌期となるもの

令和6年6月の定時株主総会において、次の議案を付議する予定であります。

株式の種類	配当金の総額	配当金の原資	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
普通株式	20,000千円	利益剰余金	2,000円	令和6年 3月31日	定時株主総会 決議成立日翌日

監査報告書

私、監査役は、2023年9月26日の「監査役の監査の範囲を会計に限定する旨の定款の定め  
の廃止」に伴い、2023年4月1日から2024年3月31日までの第43期事業年度の取締役  
の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私、監査役は、電話回線又はインターネット等を経由した手段も活用しながら、取締役及  
び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役  
会に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じ  
て説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いた  
しました。

さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸  
借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書につい  
て検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告およびその附属明細書は、法令および定款に従い、会社の状況を正し  
く示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重  
大な事実は認められません。

(2) 計算書類およびその附属明細書の監査結果

計算書類およびその附属明細書は、会社の財産および損益の状況をすべての重要な  
点において適正に表示しているものと認めます。

2024年5月29日

白島石油備蓄株式会社

監査役 細 谷 正 則 印

(参考資料)

白島石油備蓄株式会社 役員名簿

(令和6年6月20日現在)

地 位	氏 名	担当及び重要な兼務の状況
代表取締役社長	成 田 克 史	
専 務 取 締 役	黒 岩 理	
取 締 役	坂 井 俊 哉	総務部長
取 締 役	平 塚 隆 明	北九州事業所長
取 締 役	三 浦 隆	業務部長
監 査 役	細 谷 正 則	コスモ石油株式会社 常勤監査役兼務

# 白 島 石 油 備 蓄 株 式 会 社

本 社 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町二丁目9番地  
安田グリーンパーク9階  
電話 (03) 66343991 (大代表)

北九州事業所 〒808-0021 福岡県北九州市若松区響町一丁目108番  
電話 (093) 752-1460 (代表)